

Evolving as it is, silently Peninsula of “TSURUMI”

Saiki city Oita prefecture JAPAN. ありのままに、ありつづける

Evolving as
it is, silently,
Peninsula of
“TSURUMI”
Saiki city Oita prefecture JAPAN.

ありのままで、ありつづける。

九州で一番最初に日が昇る九州最東端をもつ おおきく羽を広げた鶴の如き細長い鶴見半島である。

国定公園にも指定されているこの場所では、海と空が太陽とひかり、木々はしずかに海風と暮らす。

雲から漏れる光が海に注ぎ、この世のものとは思えぬ大景。

波音の届かない森から見下ろす海は、あまりにも静かである。

戦争の痕をただなにもいわずつつみこみ、鶴見半島は何を区別することなくその存在のまま在り続けている。

人口が減少していたとしても 多くの人工物が劣化をしても

これほどの美しさをみせられて、私は思う 果たしてこれは退化なのだろうか。

Scenes of Tsurumi

1. 九州で最初に日が昇る場所

九州最東端をもつ鶴見半島は、九州でいちばん最初に真新しい朝日を享受する神聖な場所と言えます。毎年元旦には、各地からたくさんの方が初日の出を拝みにあつまります。

2. しずかに佇む戦争遺構

半島には、戦時中兵士たちが暮らしたとされる兵舎跡や見張り台、痛ましい事故があった砲台跡などの戦争遺構が点在しています。資料なきそれらは存在そのもので戦争の記憶を語ります。

3. 無窮无劫の海と謳われた情景

鶴見には国木田独步をはじめとする文化人が訪れ、映画や小説の舞台にもなりました。いまでも変わらず多くの劇作者のインスピレーションとシンクロし続けています。

4. 息をのむ美しさ。鶴見の空と海

展望台などから見る鶴見の景色は、まるで日本語に出てくる高天原からの景色。空と海が太陽と光り輝き、これを見るだけでも鶴見をおとすれる価値があります。

5. 鶴見の森の多様な生態系と癒やし

日豊海岸国定公園内では450種類に及ぶとも言われる植物群がいきいきと育ち、野鳥も多く観察されています。森に入れば癒やしの森林浴のはじまり。多種多様な自然があります。

6. 活気あふれる市場、極上の海の幸

鶴見には市場もあり、近隣の飲食店では世界一と言っているほどおいしい魚介が食べられます。漁村のなごりも多く見られ、いまでも現役漁師さんが活躍している地域です。



The east end of Kyushu
Tsurumi Peninsula

九州最東端

The east end of Kyushu

鶴見岬灯台のあるところから少しおれたところにも、九州最東端の地があります。そこまでのみちのりもまた、半島ならではの陸のかたちを感じられるダイナミックな体験（きゆうな半島岬の坂を降りるのでそここわいともいえます）。記念撮影ができるスポットも併設。鶴見岬灯台まで来たらずいこまで足を伸ばしてください。

Beautiful night in Tsurumi

街の光がわずかも届かない鶴見のルーフトップは、夕暮れ、星空が信じられないうつくしさです。ただただ、静か。ただただ、熄めき。夏には漁火、永い夕焼け。目下でたよりないろうそくのように揺らぐ灯台。鶴見のうつくしい夜を見に来てください。



© Karbo Kiba

西日本新聞社提供



Memorial of war

鶴見半島には、戦争遺構が点在しています。記憶をことばなく語るのは、兵器の跡や爆破の残骸、敵を見ていた視点。「たしかに、戦争はあった。」この事実からわたしたちが生きている「いま」どんな世界を望むのかにがえをめぐらせることは、ここからできることではないでしょうか。

丹賀砲台園地 Tanga Fort Park

丹賀の砲台跡は、太平洋戦争勃発直後の実射訓練の際、発射した弾丸が誤発し17名の韓い命が失われました。その跡はいま螺旋階段から間近で見ることができま

砲台跡 Battery ruins

鶴御埤灯台に登る前に、ゼビトイレ横の道から砲台跡へ。未完成ながら、海に向かってはっきりと口をあけた巨大な砲台跡があります。

見張り台 Watchtower

パノラマ展望台の下には、戦時中、海からの敵を監視した見張り台が今も残っています。鶴御埤灯台の下にも、うるこのようなカモフラージュが施された海軍望楼跡があります。

兵舎跡 弾薬庫跡

Barracks Ruins
Ammunition
Storage Ruins

鶴御埤灯台から小径を降りたところから、兵舎跡や弾薬庫跡をめぐる遊歩道がはじまります。丹賀砲台の地下にもおきな弾薬庫跡が存在し、大きなホールのようになっています。



鶴見の戦争遺構をめぐる

Experience Tsurumi

落ち葉を踏むだけで感じることもある。海を見ているだけで癒やされることもある。
 なにもしないでもよくてなにをしてもいい。
 自然のリズムは、社会のリズムとすこしちがう。
 わたしたちも自然のものだからきつとここで感じるものが、ほんとうのこと。
 鶴見でゆっくりしてってください。



1月1日



初日の出
 ◎鶴舞埼灯台

1月初旬 - 2月末ごろ迄



天然寒ブリ
 フェア

3月中旬 - 4月末ごろ迄



桜鯛と
 真牡蠣フェア

3月下旬



SEA & FOREST
 WALK

5月中旬 - 6月末ごろ迄



アジとイサキ
 フェア

7月中旬 - 8月末ごろ迄



夏イカフェア

9月初旬 - 11月末ごろ迄



伊勢えび海道

9月下旬



つるみ豊魚祭

10月初旬



ツールド・佐伯

冬季不定期開催



星空鑑賞会

Restaurant and Shop

※休日の確認・ご予約・お問い合わせは各店舗に直接お問い合わせください。



海鮮の宿 まつ浦

〒876-1202
 佐伯市鶴見大字地松浦550-30
 電話番号：0972-33-1191



& Blue

〒876-1203
 佐伯市鶴見沖松浦741
 電話番号：0972-28-8252



鶴見食資館

〒876-1202
 佐伯市鶴見大字地松浦1059-1
 電話番号：0972-33-1056



つるみテラス

〒876-1202
 佐伯市鶴見大字地松浦1351-1
 電話番号：0972-30-1170



お食事処 伊勢家

〒876-1202
 佐伯市鶴見大字地松浦26-3
 電話番号：0972-33-1358



フルタ酒店

〒876-1202
 佐伯市鶴見大字地松浦878
 電話番号：0972-33-0028



Aコープ鶴見店

〒876-1202
 佐伯市鶴見大字地松浦1987
 電話番号：0972-33-1129

Symbols of Tsurumi

静かな海。広い空。澄んだ風。何も考えない時間。みっつの展望台。

3 rooftop observation platforms

鶴御崎展望台

Tsurumisaki Observatory

白波、真っ白な雲、太陽の光、体を抜ける風。
通り過ぎる貨物船や漁船、海と空のコントラスト。
ずっとぼーっといたくなる浮遊感たっぷりの展望台。
豊後水道、豊予海峡、日向灘が一望できます。



天空の歩道 パノラマ展望台

Panorama Observatory

降り立てばまるで天空の地。高天原からの景色。
神秘的な朝、おだやかな昼、永い夕暮れ、星空の夜。
すべての時間が美しい。
展望台までの森林ウォークも心を癒してくれます。



元の間海峡 段々展望所

Dandan Observatory

上げ潮・下げ潮が激しくぶつかり合い、そのむこうには
島々と海と空が一望でき"境の空を呼ばれる
波の浸食によってできた大きな洞窟も見えます。
季節ごとにかわいらしい野の花咲く、素晴らしい展望所です。



灯台が3つ並んで見られるのは全国的にも珍しい。

航路を照らす、個性的なみっつの灯台。

3 Lighthouses

水ノ子島灯台

Mizunoko island lighthouse

豊後水道のほばまんなかに浮かぶ
水ノ子島にあるしましまの灯台。
鶴見半島から肉眼でも確認でき、
日本の灯台50選に選ばれている有名な灯台です。
いまは完全自動化され、無人となっています。



鶴御崎灯台

Tsurumisaki lighthouse

海拔200mの絶壁の上に立つ鶴御崎灯台。
昭和56年に初点灯。
うっすい白タイル製。
天気の良い日は灯台下の展望台から
水ノ子島灯台が見えます。



先ノ瀬灯台

Sakinose lighthouse

佐伯市大島の東側1,852メートル、
海拔約40メートルの先ノ瀬上に佇む灯台。
昭和36年初点灯。白色円塔型のコンクリート造り。
太陽光発電によるグリーンエネルギーで
稼働しています。



歴史、生態系、文化、芸術。

みっつのミュージアム。

3 distinctive Museums



水の子島 海事資料館

Mizunoko island lighthouse museum

水の子島灯台の燈台守の退息所であった洋館をそのまま
活用し、海事資料や模型や古い漁具、灯台に関する資料
などが展示されている。当時の燈台守の暮らしや鶴
見の漁業などを知る貴重な資料館です。



水の子島 渡り鳥館

Wander vogel haus

水ノ子島灯台に迫突死した渡り鳥を剥製にして展示している博
物館。渡り鳥ならではの多様な生態を知ることができ、この博
物館をつつた方の生き物への探究心と畏敬の念を感じます。



富永一朗 海の漫画館

Ichiro Tominaga Manga museum

大分県佐伯市育ちの漫画家。富永一朗先生の貴重な色鉛筆
で描かれた原画が並び、コミカルな表現の中にダークサイ
ドが垣間見える漫画ファンなら必見のミュージアムです。

Inspiration of Tsurumi

多くのフォトグラファーやクリエイター・芸術家たちが鶴見を訪れ、この世になにかを映し出している。



yibunobu_rokudai @丹賀宿台美術



kueehara0107 桑原ひかり 07.11.18 - 02.08.19



...s.0331 @丹賀宿台美術



doragon1977 @丹賀宿台美術



kayuki176 @丹賀宿台美術



toshikominahata @パノラマ展望台

Outline of Tsurumi peninsula



鶴見のスポットを
地図アプリでみる



発行：佐伯市役所 鶴見振興局
〒876-1202 大分県佐伯市鶴見大字地松浦2008-6
発行日：2023年3月31日

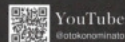
お問い合わせ |

佐伯市 鶴見振興局 地域振興課

0972-33-1111

月曜日～金曜日 8:30～17:00
(祝日、年末年始は除く)

鶴見振興局 SNS公式アカウント |



鶴見のいたる所に一船先生の船が
見つけてみてください